小川町立欅台中学校「学校だより」　平成３１年４月２２日　第２号

欅の襷（けやきのたすき）

「学校教育目標」
　絆を深め、地域社会に貢献できる生徒の育成
○自ら学ぶ　○思いやる
○体を鍛える

文責　竹田　圭志

大変立派な態度でした（入学式）

８日の始業式・入学式では、全校生徒が心を一つにして素晴らしい１年のスタートが切れたと思います。新入生も、上級生も、素晴らしい態度でした。新入生の堂々とした入退場や大きな「はい！」という返事。新入生の入退場に花を添えた吹奏楽部の演奏。２・３年生の体育館中に響き渡る歌声。生徒会長の「歓迎の言葉」。新入生代表生徒の「誓いの言葉」。そして、全校生徒の皆さんの背筋を伸ばした姿勢。全校生徒が主役となって、来賓の皆様や保護者の皆様、教職員を巻き込んだ素晴らしい行事を創り上げてくれたことに感謝します。

入学式の中で、最年少の１７才でノーベル平和賞を受賞したマララさんの授賞式でのスピーチ「１人の子供、１人の教師、１冊の本、そして、１本のペン。それで世界を変えられます。」に触れ、教育（学校での日々の学習）は、世界を変えるほどの力を持っているのだと話しました。この３年間で世界を変えられるぐらいの力を付けてほしいと思っています。そのためにも、

①明確な目標を持つ（言ったり、書いたりする）
②失敗を恐れず、何事にもチャレンジする
③当たり前のことを(A)、バカにしないで(B)、ちゃんとやる(C)
の３つを紹介しました。これは、新入生に限らず、２・３年の皆さんにもぜひ実践してもらいたいことです。

学校だより「欅の襷（けやきのたすき）」命名の理由

申し遅れましたが、今年度より本校の校長としてお世話になることになりました竹田圭志（たけだ　けいし）と申します。前任の山本髙志 校長のもとで、２年間教頭として本校に勤務しておりました（平成 28･29 年度）。その関係で、山本校長の築いてきた保護者・地域の皆様との固い絆も十分承知しているつもりです。山本校長の意志を引き継ぎながら、微力ではございますが、私なりに精進して参ります。何とぞ、ご理解とご支援をよろしくお願い致します。

さて、学校だよりの「欅（けやき）の襷（たすき）」ですが、いずれもとても難しい漢字です。でも、よく見ると、「偏（へん）」の部分は、「木偏(きへん)」と「衣偏(ころもへん)」で異なりますが、右側の「旁（つくり）」の部分が一緒です。実は、以前から、何かでこの２つの漢字を一緒に使えたら面白いのではと思っていました。５日の準備登校の様子を見たとき、ピン！とひらめきました。新入生をもてなすために２・３年生が心を込めて作業をしてくれました。こんな風に、上級生が下級生に「思い」を「形」にしながら、伝えていくんだなあ・・・と改めて伝統とは「心の襷（たすき）リレー」だと感じたのです。駅伝の襷リレーのように人から人へ、何年もつながっていったら素敵だなと思い、学校だよりのタイトルとしました。母校の「欅」同様に「襷」も覚えてもらえると嬉しいです。

第1回 学校運営協議会（4/18）

今年度から、小川町ではコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）がスタートします。学校が、育てたい生徒像や目指すべき教育のビジョンを保護者や地域の皆様と共有し、目標の実現に向けて共に協働していく仕組です。

昨年度までの学校評議員から３名（中島　功　様、高津戸真司　様、櫻井克浩　様）の皆様が、小川町教育委員会より運営協議会委員として任命されました。また、新たな委員として、稗田順子　様、保護者代表として花井恵美子　様が任命されました。任期は１年（令和２年３月３１日まで）です。よろしくお願い致します。

さっそく、第１回学校運営協議会を４月１８日に開催しました。

参加いただいた委員の皆様には、校内をご案内し、授業の様子や施設をご覧いただきました。その後、会議室で校長による「学校経営方針」の説明、意見交換を行ったうえで「学校経営方針」の承認をいただきました。２回目は立志式終了後、３回目は、２月下旬から３月上旬で計画しています。

学校朝会（4/19）

先日の学校朝会で２つの話をしました。

１つ目は、入学式の日に１学年主任の佐藤先生の腕時計が電池切れで止まってしまっていた。それに気づかず、新入生の入場が遅れてしまったという失敗談。そして、その後の佐藤先生の取った行動についてお話ししました。佐藤先生が取った、小さなミスであっても「自分のあやまちを謙虚に受け止め、周囲に謝罪できる」ことの素晴らしさ。そして、その失敗談を聞いた先生方全員がプラスにとらえ、今まで以上に慎重な取組（また、こういうことが起こるかもしれないぞ！）にしていこうと、大きく前進できているんだということを話しました。失敗から学び、結果的には成長できている。失敗したからこそ得られることもあるんだ。というお話です。生徒の皆さんには、「失敗しても良いから、それを謙虚に受け止めることで、次の成長につなげていって欲しい」と伝えました。佐藤先生に、今回の失敗談について「朝会で生徒に話をしてもいいですか？」と聞いたところ、「もちろんです」と、気持ちよく承諾してくれました。

２つ目は、学校生活の中で絶対にしてはいけない「しくじり」があるんだというお話です。１つ目の話とは矛盾してしまうかもしれませんが、絶対に許されない、してはいけない「しくじり」があるのです。さて、それは何か？　それは、「いじめ」です。テレビや新聞でも報道されますが、「いじめ」は人の命をさえ奪う、絶対に許されない行為です。ちょっとぐらいいいじゃないか･･･というからかいや、ふざけ半分の相手を困らせるいたずらも、相手にとっては苦痛になります。「いじめる」ことはもちろん、「いじめ」を見て見ないふりをするのも同じ「いじめ」です。欅台中学校の教職員は、絶対に「いじめを許さない」と、４月１日に確認し誓い合いました。校内のあちこちに貼られている掲示物「たった一言で 人の心を傷つける　たった一言で 人の心を暖める」。ぜひ、心に刻んでください。

保護者の方にもお願いがあります。お子さんに対して、

「うちの子は、まさか**いじめられて**いないだろうか？」

と心配する前に、

「うちの子は、まさか**いじめをして**いないだろうか？」

の心配をしてください。

人間の心は弱いものです。我々教職員も、単に「いじめを許さない」だけではなく、「いじめはどこにでもあるんだ」という気持ちで、子供たちを見守っていきたいと思っています。

校長への通信欄：通信の感想、学校に対する要望やご意見等がございましたらお書きください

※ 封筒に入れ（可能でしたら記名をお願いします）お子様を通じて直接届けていただくか、校長室前のポストに入れてください。用紙は、この紙でなくても結構です。申し訳ありませんが、全てのご要望にお応えはできかねる旨をあらかじめご了承ください（十分、参考にはさせていただきます）。

キ　リ　ト　リ

【校長への通信欄】4/22　（　　）